

令和6年7月1日 静岡駅南口駅前広場再整備検討委員会：第4回のまとめ

第1回 現状と問題点・目指すべき姿

第2回 コンセプト案とゾーニング案

第3回 将来交通機能数の設定と配置・空間構成方針

論点1 まちのロビー空間にふさわしい駅前広場とは：求められる広場の機能と配置(案)

「まちのロビー空間」を構成する3つの機能と配置(案)について

利用者アンケート結果：求められる機能

分類 1
・休憩・待ち合わせスペース
・ひとりで滞留できる場所
・親子連れが休憩できる場所

分類 2
・静岡を感じられる場所
・観光・交通案内施設
・地域の情報発信スペース

分類 3
・イベントスペース
・コミュニケーションの場
・文化の発信ができる場

etc.



【①お出迎いの空間】

- ・広場来訪者がコンコースを抜けて初めて目にする空間となる。
- ・静岡市を発信するとともに、静岡市を感じられる「まちの顔」としてふさわしい設けが求められる。
- ・地域と連携した賑わいイベント等が行われることによって、まちなかへの回遊促進が期待できる。

各広場機能の配置(案)※あくまでイメージです。



【②気軽に立ち寄れる憩いの空間】

- ・通過する歩行者通行量が比較的小さいことが予想されるため、落ち着いた滞留できる空間である。
- ・駅中の施設や高度利用想定エリアと隣接することから、周辺民間建物と連携を図るような利用が期待できる。

【④サービス機能(屋内を想定)】

- ・各空間を快適に利用するための、サービス機能を提供する空間である。
- ・広場のどこからでもアクセスしやすい、広場中央部に配置することで、各空間における多様な形態の活用を円滑に実現するための機能の配置を想定している。

【③まちとつながるゆりの空間】

- ・様々な方向の歩行者動線が交わる空間である。
- ・両側の交通ロータリーに挟まれることから、屋外の待ち機能が求められる。
- ・利活用の規模に合わせて、隣接空間との一体利用を想定した、多目的広場としての機能が期待できる。

委員からの意見

【学生アンケートの結果より】

- ・学生は飲食のできる待合空間や屋根付きベンチなど休憩できる屋外スペースを求めている。
- ・ガラス張りで解放感があり、可変性を考慮したコンテナのような低層建物があるといい。

【広場機能について】

- ・お出迎いの空間はマルシェ等を常設とするのか、月に一回程度なのかで必要なものも変わる。ベンチ等も固定されてしまうと、自由に使えなくなる場合もある。
- ・お出迎いの空間は、コンコース前の顔となる空間なので、見通しや開放性があるほうがよい。
- ・お出迎いの空間について、名称は要検討だが、今後のインバウンド等を考慮し、静岡に初めて来た人のための空間として、今後の静岡の可能性に期待するような空間にしていきたい。
- ・サービス機能は低層でガラス張り、カフェや待合機能があり、ロビー空間の中の魅力的な施設となると良い。

【広場の使い方について】

- ・イベントできる空間が広くできるが、一方で、誰がマネジメントを行うのかという課題もある。
- ・テントは強風による事故が怖い。コンテナやキッチンカーのようなものでイベントは実施できればと思う。
- ・イベント時には電気を借りることができないことが多い。備え付けの電源設備があると良い。

【屋根について】

- ・屋根の柱が多くなると、歩きづらく閉鎖的になってしまう。どのように開放的にしていくかが大事になる。
- ・広場全体を覆うような透明な大屋根はどうか。
- ・大きな屋根があると、日影があるので滞留時間がのび、できるイベントの幅も広がる。
- ・大屋根と開放性はトレードオフになる。

論点2 駅前広場と周辺街区との連携について

周辺回遊ネットワークの形成・既存ペDESTリアンデッキについて

- ・南口駅前広場整備を、静岡の駅まち空間整備のパイロットプロジェクトとする。
- ・南口駅前広場から周辺地区へつながる5本の軸(下図①~⑤の道路)を駅南銀座や久能街道、周辺再開発ビル等、多様な連携を可能とする軸と位置付ける。
- ・駅前広場をハブとしてまちなかの空間をつなぐ回遊動線の構築を目指す。



委員からの意見

【①石田街道について】

- ・観光バス乗降場として運用するためには、有料化等の仕組みの検討が必要になる。

【②泉町豊原町線(西側)について】

- ・一車線化する際に、南側に車道を寄せる等の工夫をすれば、更なる歩行者空間が生み出せる。

【③泉町豊原町線(東側)について】

- ・6mでは狭い。道路を拡張した方がよい。
- ・近隣に目的地となる施設があり、歩行者が多い。安全のためにも歩道は設置するべき。

【④南町石田線について】

- ・一般車乗降場に停まりきらない車両による路上駐車が課題になる。一般車が進入しにくくなるような仕組みを検討していくべき。

【ペDESTリアンデッキについて】

- ・所有している方々と話し合う必要があるが、理想的なビジョンを示すことも大切になる。
- ・広場前面道路が広場に取り込まれるのであれば、ペDESTリアンデッキの道路横断部分は必要がなくなる。
- ・見栄えがよくない。老朽化している可能性がある。将来新しくなる駅前広場には不要なのではないか。

【路上駐車について】

- ・今回の案で広場東側民間駐車場がなくなると、路上駐車が増えてしまうのではないかと。
- ・自転車でのアクセスがしやすくなるように、自転車のネットワークと駐輪場の検討をしていくべき。

8月9日、10日 オープンハウス・9月~10月パブリックコメント

秋頃 第5回 将来の駅前広場での取り組み・基本計画まとめ